

京都府損保特殊暴力対策協議会総会を開催

～京都府警等関係団体と不当不正請求根絶に向けた連携を確認～

日本損害保険協会近畿支部委員会（委員長：中村 哲・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員）では、7月26日（水）京都市内で、第45回京都府損保特殊暴力対策協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など33名の出席がありました。

総会に先立ち行われた研修会では、京都弁護士会民暴・非弁取締委員会の中島 宏樹委員長から「不当要求に対する対応要領について」と題して、京都府暴力追放運動推進センター職員が悪役として登場し、相手役となった会員に不当要求を迫るといった実践を交えながら、具体的な対応方法や留意点について講話をいただきました。

総会開会に際し、当協議会の安田 征史 会長（東京海上日動火災保険株式会社京滋損害サービス部長）から、日頃の関係各位の支援・協力への感謝の意を表するとともに、「他の事件が多発している中、保険金詐欺事件の摘発にご尽力いただいております。こうした保険犯罪に対する強い姿勢が、保険金詐欺を企てようとする者に対して大きな抑止力となっていることに深く感謝申し上げます。」との挨拶がありました。

当協議会顧問である京都府警察本部刑事部の田中 智士 組織犯罪対策第二課長からは、「京都の暴力団組織は弱体化の一途をたどっているものの、準暴力団等の犯罪者グループによる特殊詐欺は増加傾向にあり手口も多様化している。警察としても全力で被害防止につとめるので、引き続き関係各位の支援と協力をお願いしたい。」との挨拶がありました。

また、同じく顧問で同交通部の小野 利幸 交通捜査課長からは、「交通事故にからむ保険金詐欺事件は減少傾向にあるものの、暴力団等の反社会的勢力による介在も多く、手口は悪質・巧妙化していることから、不正請求事案の根絶に向けて、引き続き緊密な連携をお願いしたい。」との挨拶がありました。

ご来賓である京都弁護士会 民暴・非弁取締委員会の中島 宏樹委員長からは、「不当要求の対応については、事案の減少により保険業界における対応ノウハウの継承が課題になっていると思われるので、第1部の講演内容を持ち帰っていただき参考としていただきたい。また、反社会的勢力による不正請求については、弁護士会としても引き続き連携を深めて対応したい。」とのご挨拶がありました。

続いて、当協議会の 田邊 副代表幹事（東京海上日動社）から、令和4年度の活動報告および令和5年度の活動計画の提案があり、令和5年度も情報交換および当協議会活動の活性化、弁護士会との連携強化、自動車盗難等防止対策の推進、不正不当な請求を行う特定修理業者等に関する情報交換・対策に取り組むことが満場一致で承認されました。

次いで、当協議会の福田 幹事（三井住友海上社）から、「損害保険事業の社会公共性に鑑み、警察との緊密な連携のもとあらゆる暴力や犯罪を排除し、事業の健全な発展をはかる」旨の決議文が読み上げられ満場一致で採択し、その意思を確固たるものにしました。

最後に、中川 代表幹事（損保ジャパン社）より「引き続き、暴力団の排除と保険金犯罪・不正請求の防止に向けて、関係各位との連携のもと、的確に対策を講じ、全力を尽くして取り組んでいく」旨の挨拶で総会を終了しました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力対策および不正請求対策として、警察・関係団体と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けています。当協議会は1979年に全国に先立ち設置されています。

総会の概要は次の通りです。

第45回 京都府損保特殊暴力対策協議会総会 式次第

第1部 研修会

講演 京都弁護士会 民暴・非弁取締員会 委員長 中島 宏樹 様

第2部 総会

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 役員選任
5. 顧問委嘱
6. 顧問挨拶 京都府警察本部 刑事部 組織犯罪対策第二課長 田中 智士 様
京都府警察本部 交通部 交通捜査課長 小野 利幸 様
7. 来賓挨拶 京都弁護士会 民暴・非弁取締委員会 委員長 中島 宏樹 様
8. 令和4年度活動報告・令和5年度活動計画（案）
9. 決議文採択
10. 閉会の辞



会場の様子



開会挨拶をする安田会長
(東京海上日動社)



活動報告を行う田邊副代表幹事
(東京海上日動社)



決議文を読み上げる福田幹事
(三井住友海上社)



閉会挨拶をする中川代表幹事
(損保ジャパン社)



司会を行う天倉副代表幹事
(あいおいニッセイ同和損保社)